土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　　令和2年度　二級河川　沼田川水系　宗郷川　通常砂防事業に伴う業務委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象　　砂防　構造物基礎

ボーリング名	BorNo.4	調査位置	広島県 三原市 宗郷町	北　緯	34° 22′ 23.8367″
発注機関	広島県 東部建設事務所 三原支所	調査期間	令和02年11月12日～令和02年11月18日	東　経	133° 03′ 48.2659″
調査業者名		照査技術者		管理技術者	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	T.P. 88.05 m	角度	180°（上）90°（下）0°	方位	北 0°　東 90°　南 180°　西 270°
地盤勾配	水平 0°　鉛直 90°	使用機種		試錐機	東邦地下工機D1
総削孔長	9.00 m	エンジン	ヤンマーNs110C	ポンプ	東邦地下工機BG3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定年月日
	87.20	0.85		玉石混じり砂礫		暗灰～茶褐			φ=5～40mmの亜円礫が主体。 基質は粗中砂状を示す。 コア長L=3～15cmの玉石を混入する。	11/16 0.20 11/17 0.20
1	86.05	2.00		砂礫		淡茶灰	中ぐらい		φ=5～30mmの亜角，亜円礫が主体。 基質は粘土混じり砂状を示す。 含水比がやや高い。	11/14 0.30
2 3 4 5 6	81.85	6.20		玉石混じり砂礫		暗灰～淡褐灰	非常に密な		φ=10～60mmの亜円礫が主体。 コア長L=3～22cmの玉石を混入する。 礫種は泥質岩が主体で花崗岩が混在する。 玉石コアはハンマ軽打で濁音～金属音を発し，軟岩～中硬岩クラスの硬度を有する。	
7 8 9	79.05	9.00		風化花崗岩		淡褐灰			粗粒黒雲母花崗岩の風化岩。 コアは岩片状～短柱状が主体。 コア肌は粗面状，ハンマの軽打で濁音を発し，分離する。 キレツは水平～低角度主体。 キレツ面は原岩色と褐色に酸化したものが混在する。 岩級区分CLクラス。	

標準貫入試験（N値 0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量
15.0	1.15	4	6	5	15
	1.45				300
1500.0	2.00	50			50
	2.01	10			10
750.0	3.00	50			50
	3.02	20			20
750.0	4.00	50			50
	4.02	20			20
1500.0	5.00	50			50
	5.01	10			10
1500.0	6.00	50			50
	6.01	10			10
1500.0	7.00	50			50
	7.01	10			10

原位置試験 深度 (m)	試験名及び結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
						11/13 11/14 11/16 11/17